

ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

第7回定例会（平成24年9月定例会）

第7回定例会（平成24年9月定例会）…	2	第8回臨時会 ……………	14
一般質問 ……………	5	常任委員会活動報告 ……………	14
町の財政状況（23年度決算）……………	11	議員活動報告 ……………	15
平成23年度決算審査 ……………	13	議会報告会開催のお知らせ ……………	16
主な質疑 ……………	13	編集後記 ……………	16

議会広報
平成24年11月
第5号

町民運動会 平成24年9月23日



第7回定例会

平成24年9月

9月定例会は、9月6日から12日までの7日間の会期で開催しました。

議会からの案件1件と町長からの案件として、報告3件、町条例関係3件、補正予算6件、決算認定2件、人事案件4件、その他規約の変更等4件の計22件が提出されました。

議会提出案件

●地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書案

・二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」

を早急に構築してもらおう。

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

内閣総理大臣ほか関係省庁へ意見書を提出しました。

町長提出案件

町条例関係 3件

●五戸町営住宅条例の一部を改正する条例案

・入居に係る保証人の住所要件の緩和。
・総合病院が所有していた医師住宅の一部を町営住宅に変更。

●五戸町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例案

・過疎地域自立促進特別措置法の一部改正による条例の制定。

●五戸町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例案

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

補正予算 6件

●一般会計補正予算(第2号)

・予算総額 10億6655万3千円
主な内容 1億2031万6千円増額
・病院事業会計負担金

・光ケーブル移設工事費 2494万円
・町道維持及び舗装修繕工事費 2000万円
主な減額
・住宅建設等工事費 7105万円

●国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

・予算総額 24億1956万5千円
主な内容 375万5千円増額
主な増額 375万5千円増額

・療養給付費交付金返還金 322万円
主な増額

●介護保険特別会計補正予算(第1号)

・予算総額 20億9106万1千円
主な内容 672万円増額
・要援護者管理システム導入業務委託料 527万円
主な増額

●下水道事業特別会計補正予算(第1号)

・予算総額 4億4947万9千円
主な内容 150万円増額
・馬淵川流域下水道事業費負担金 150万円
主な増額

●ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

・予算総額 2616万1千円
主な内容 388万5千円増額

・自主放送番組同時録画装置整備委託料 388万円
主な増額

●病院事業会計補正予算(第1号)

・収益的収入 27億2398万5千円
・収益的支出 28億8600万5千円
主な内容
・一般会計からの繰入金 1億225万8千円増額
・売店販売費 2442万9千円減額
・資本的収入 2億850万7千円
・資本的支出 3億931万1千円
主な内容
・企業債 520万円増額
・医療ガス監視装置更新等 680万9千円増額

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

町以外の規約の変更等 4件

●青森県後期高齢者医療広域

連合規約の変更
・外国人登録法の廃止に伴う変更。

●三戸郡町村会館管理組合の解散

●三戸郡町村会館管理組合の解散に伴う財産処分

●三戸郡町村会館管理組合の解散に伴う事務の承継並びに決算の審査及び認定の方法

・平成25年3月31日で三戸郡町村会館管理組合を解散すること及び解散後の処理等に関して郡内の町村長が協議したことについて議会の議決が必要のため。

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

決算認定 2件

●平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

●平成23年度病院事業会計決算認定

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

詳細は11ページから13ページをご覧ください。

報告 3件

●平成23年度青森県新産業都市建設事業団の決算

●平成23年度決算に基づく財政の健全化判断比率
・下表をご参照ください。

●平成23年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率
・資金不足がないため経営の資金不足比率は算定されません。
・経営健全化基準は20・0%です。

報告に対する議案審議はありません。



平成23年度決算に基づく財政の健全化判断比率の結果

	①実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合 %	②連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合 %	③実質公債比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 %	④将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額が標準財政規模に占める割合
五戸町	—	—	19.7	95.3
早期健全化基準	14.24以上	19.24以上	25.0以上	350.0以上
財政再生基準	20.00以上	30.00以上	35.0以上	

健全化判断比率とは

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（地方財政健全化法）が成立し、平成19年度決算から、財政状況を判断する健全化判断比率を算定し、町民の皆さんに公表するものです。この法律は財政悪化が進む地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐために、毎年財政状況をチェックし、早期に財政の健全化に取り組めるようにしたものです。

- ① 実質赤字比率：主に一般会計でどれくらいの赤字があるか。
 - ② 連結実質赤字比率：町全体（一般会計、特別会計）でどれくらいの赤字があるか。
 - ③ 実質公債比率：借金の返済にどれくらい支払っているか。
 - ④ 将来負担比率：将来どれくらいの負担が見込まれるか。
- ・早期健全化基準を超えると財政健全化団体となり、自主的かつ計画的に財政健全化を図るため財政健全化計画を策定することが義務づけられています。
- ・財政再生基準を超えると財政再生団体となり、自主的な財政の健全化を図ることが困難であるとして、財政再生計画を策定することが義務づけられています。

五戸町は23年度決算において健全な財政状況にあります。

人事 4件

●人権擁護委員の候補者の推薦

◎太田和夫氏



五戸町字下モ沢向
主な職歴

五戸町職員

総合病院 事務局次長
介護保険課長

◎中川原 經氏



五戸町大字扇田字寺沢
主な職歴

五戸町職員

五戸町スポーツ振興公社
事務局長

教育委員会
社会教育課長

産業課長

農林課長

農業委員会 事務局長

建設課長

野沢自治会長

◎大西行夫氏



五戸町字大渡道ノ下モ
主な職歴

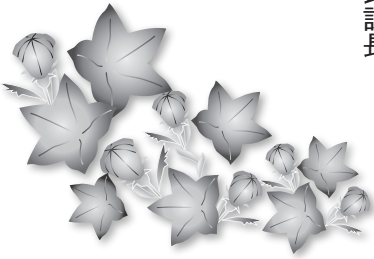
五戸町職員

下水道課長補佐

上下水道課長補佐

住民課長補佐

住民課長



●固定資産評価審査委員会
委員の選任

◎川崎弘司氏



五戸町大字切谷内字切谷内村
主な職歴

五戸町職員

健診センター 技師長

総合病院 技師長

農業
五戸町固定資産評価審査委
員会委員

●五戸町選挙管理委員会
委員・補充員の選挙

◎金澤孝吉氏(委員長)



小保内 満彦氏



江戸 正治郎氏



●五戸町表彰審議会委員3名
を指名

若宮佳一 議員
鈴木繁盛 議員
沢田良一 議員

審議の結果

全員賛成で同意

補充員

種々市 昭彦氏
根岸木 英治氏
太田 博之氏

齋藤正栄氏



一般質問

川村 浩 昭 議員



再生可能エネルギーへの取り組み

質問

電力買い取り制度を踏まえ、五戸町における再生可能エネルギーの開発、特に、メガソーラーと風力発電に取り組む考えはないか。

三浦町長答弁

再生可能エネルギーは、太陽光、風力、水力、地熱など自然現象から得られるエネルギーである。現在メガソーラーが設置されている例では、工業団地の売却が進まぬ土地や農地等に適さない荒地地等

が対象となっているようだ。五戸町では町有地や民有地を問わず、広大な遊休地は見当たらない。広大な土地だけで考えれば町所有の山、耕作放棄をされた田畑、休耕田などもあるが、町有地は町有林の保護の問題、田畑は日本の食糧政策がはっきりしていない中、転用してよいものかという問題がある。

また、国・県にメガソーラーに対する補助が見当たらないため、現時点では、メガソーラーの設置を直ちに検討する環境にはない。しかし、メガソーラーにこだわらず小規模の発電所については可能性があると思うので、国・県の支援策や買い取り制度等の状況を見据え、用地の調査、研究をしていきたい。

風力発電については、当町は高い山や、海から吹き込む場所もなく、適してはいないと考ええる。

なお、当面の策として、個人住宅への太陽光発電の助成や、国の平成24年度予算に盛り込まれました公共施設再生可能エネルギー等導入事業

を活用し、役場本庁舎、新たな倉石小学校、町立公民館、改築する五戸小学校に太陽光発電装置及び蓄電池を設置する計画となっている。

柏田 雅 俊 議員



社会福祉法人に対する公金の支出は

質問

①平成6年度から平成8年度の各年度におけるハピネスに対する措置制度にかかわる老人福祉施設入所措置費の支払総額とその内訳として国・県・町の負担額はいくらだったのか。

②ハピネスに対して措置費とは別に独自で5000万円を補助しているが、その財源と支払時期は。

③平成6年度と8年度に開設されたハピネスと同様の施設に対し、町独自補助金を出していた町村があったか。

三浦町長答弁

①平成6年度当時のことで、支払証書等は保存年限を過ぎており廃棄処分となっている。資料としてあるのが決算書のみで、ハピネスに対する部分のみの措置費に関する資料はないが、措置費全体の支払額は、平成6年度1億8486万円、平成7年度2億3219万円、平成8年度2億5194万円となっている。負担割合は、本人費用徴収を除き国が2分の1、県及び町がそれぞれ4分の1負担である。

②資料がないため詳しくは述べられないが、財源は一般財源と思われる。支払時期は平成7年3月20日から平成7年5月31日の間と思われる。

③三戸郡と近隣市町村へ照会をした結果、独自の補助金を出した市町村はなし。青森県へ問い合わせた結果、平成6年に当時の天間林村が2075万円を出していた。

石沢少年駒踊りの継承を

質問

石沢の駒踊りは今から50年前の昭和37年6月に青森県無形民族文化財に指定されており、石沢少年駒踊りは文部省が学校教育に地域文化を取り入れるべく、方針を打ち出す前の昭和55年から地元保存会並びに地域の関係者と石沢小学校が一体となって、学校教育の一環として位置づけて取り組んできた郷土芸能であり、石沢小学校としては実に32年の伝統を持つものでありますので、統合倉石小学校においても、ぜひこの伝統を引き継ぎ、全国的にも後継者不足により年々地域の郷土芸能が失われつつある中で、貴重な石沢少年駒踊りを継承していくことは教育上においても重要なことだと考えます

が、教育委員会としてはどのように考えているのか。

高橋教育長答弁

石沢の駒踊りは、駒踊りとしては、県内はもとより全国的にも有名な駒踊りの一つである。駒踊り保存会の御協力のもと、昭和56年8月に石沢少年駒踊りが結成され、30年を超える歴史のもと、現代の保存会の指導を受け石沢小学校に引き継がれてきた大変貴重な教育活動である。

小学校統合にかかわる学区流入への説明会で、教育委員会としても特色ある活動はできるだけ統合校へ引き継ぐこととしている。したがって、石沢小学校の少年駒踊りは文化的価値も高く、また教育的活動としても他の模範となる活動であると考えており、倉石小学校においても継承していくよう、教育委員会として働きかける。



石沢少年駒踊り

川崎七保議員



番外地の将来像は

質問

盛立番外地地域での説明会では単に建物の撤去とのことでしたが、ここは町の中心地であるという点で重要な場所であると考えています。例えば、町

中心の緑地公園化、または歴史ある西塔坂とのつながりを利用してのイベント広場、またはサンフランシスコのランバート通りのような通りなど、ちよつと考えただけでも幾らでもアイデアはあると思う。

この番外地から小学校までの間の道路は大変狭く、バスや大型トラックが通るときは電柱1本ごとにとまってすれ違ふという本当に大変な通りであり、車の接触事故も多く、通行困難な通りと言っても過言ではない。

最近では、市だけではなく町でも繁華街の電線地中化を進めているところもあり、これには多くの予算を必要とする事業になるが、町の中心街を何とかしようとするのは避けられない事業の一つであると考えています。

国の制度や県の制度を利用して、また、ビッグチャンスを待つのも方法、しかしそのためには活発に県や国へ行き、目を大きく、耳を立てて方法を探るのがよいと考えています。いろいろ御提言申し上げたが、町長はいかがお考えか。

三浦町長答弁

現在危険箇所解消に向けた道路整備を行うため、空き家再生等推進事業により、県道五戸六戸線の道路占用物件の受託を進めるべく調査を行い、国に概算要望を行っており、青森県でも平成25年度に測量、調査、設計を行うため町と歩調を合わせ国に概算要望を行っている。

県道の具体的な設計は来年度になるが、老朽化した擁壁の撤去、整備及び歩道を拡張していただき、あわせて接続する沢側の町道も一体となった整備をしたいと考えています。そのほか、緑地公園あるいは電線の地中化などの考え方はないのかという御意見もいただき、県道五戸六戸線の整備計画工法などにもよりますが、建物除去により川原町方面が眺望できるので、歩道整備に展望施設なども整備できるような要望したいと考えています。

また、この地区の整備を検討した際、隣接する下タノ沢地区のくぼ地も検討課題に上がったが、埋め立てることにより地震等の影響を受けや

すく、また、電線地中化についても公共事業としての採択が困難であるとのこと、現在のところ計画はない。この地域の問題については青森県三八地域県民局地域整備部、五戸町商工会、町の三者で勉強会を立ち上げており、その勉強会の中でいろいろまた議論がされてくるものと思う。



盛立番外地周辺

交通危険道路の改良は

質問

県道橋向五戸線宛内地区は、既に20年にもわたって問題視され、政治家の方々が解決を約束されていたはずだが、い

まだに大型同士のすれ違いには歩道に乗り上げてぎりぎりでの通行がなされている。雪が降るとさらに狭くなり、渋滞になったりもする。

川原町の古堂横の通学路は、前後の通りは広く、車もスピードは上げるが、そこだけ急に狭くなるため急ブレーキをかけざるを得ない。その近くに住む住民から、五戸高校の生徒が危ないときもあり見ていられないので何とかしてほしいと言われた。冬ともなると、本当に危険なときがあるそう。

この問題の解決策は。

三浦町長答弁

兔内地区、主要地方道の橋向五戸線の石仏兔内間については、平成23年2月9日虻川学区自治会連絡協議会、虻川小学校安心安全委員会から道路整備に関する陳情を受け、2月25日に道路管理者である青森県三八地域民局地域整備部長へ、五戸町、虻川学区自治会連絡協議会会長、虻川自治会長、地元選出県議員、五戸町議会議員らと要望

書を提出し道路整備の要望を行っており、引き続き早期着手を要望する。

川原町古堂横の通学路、町道川原町一本木線の整備については、各地域の要望や道路の巡視、通報をいただいたときには補修、修繕等も行っているが、この路線は地元及び学校関係者からも要望もなく、整備計画に盛り込まれていないので、地元関係者と協議しながら整備に取り組む。

急傾斜崩落危険箇所の対応は

質問

昔は東北の台風や大雨はせいぜい180ミリから250ミリも降ればせいぜいでしたが、温暖化によって450ミリを超えることもあるようになってきた。そのため、ちょっとした傾斜でも、場所によっては集中豪雨のようになり、崩壊する危険が出てきたところもふえているようだ。今は東日本大震災がらみのいろいろな補助事業が出ているように、特に大きな災害に遭った

わけでもなく、危険箇所だからと防災工事をしているところが見受けられる。五戸も順番を決め、制度活用しながら危険箇所の防災整備を始めたらと思うが。

三浦町長答弁

急傾斜地崩壊危険箇所の整備については、青森県が実施することになっており、一定の基準を満たし地元の協力をいただける箇所から整備している。採択要件を満たす箇所には土どめ工事等行っており、急傾斜地崩壊危険箇所の指定についても、本年度の地域の要望などから区域の調査や見直しを県にお願いしており、整備要望がある場合には県と協議する。

AEDマップの作成を

質問

① AED導入は、住民の命を守る大きな手段であり、他町村に先駆けて設置していただいたが、公共施設にどれだけ設置されているのか、また、使用状況は。
② AEDは会社、医院、コンビニ、商店と広く普及していると思うが、商工会等と連携してAEDのマップをつくっていただきたい。
③ 今後の増設置予定は。公共施設にあるものは、夜間はほとんど使用できないため、夜間でも使用できる場所、消防屯所等への設置を考えていただきたい。

三浦町長答弁

① 町内のAED設置場所数は、民間企業等で設置してあるものを含め25の施設等に設置されている。使用実績状況は、設置施設等からの聞き取り調査の結果、直近の2年間では使用実績はない。

AED設置 公共施設	
五戸町役場	五戸ドーム
川内支所	小学校 全9校
浅田支所	中学校 全3校
倉石支所	五戸高等学校
町立公民館	五戸警察署

② AEDはめったに使われるものではないが救急車の到着以前にAEDを使用した場合、救急隊員や医師が駆けつけてからAEDを使用するよりも救命率が数倍も高いことが明らかになっており、一人でも多くの住民がAEDの設置場所を把握しておくことは万が一の事態が発生した場合等を考慮すると大変重要なことである。実際にAEDを一般住民が使うケースもふえるものと思われるので、AED設置場所マップ作成に当たり住民の安全、安心のためにも速やかに周知したい。

大沢 博 議員





役場1階に設置のAED

③現在のAED設置場所はほとんどが公共施設や学校等に設置されてあることから、休日や夜間などの場合、だれでも自由に使用できる現状にはなっておらず、非常事態に対処できる状況下には置かれていない。このような問題を解決するためにも、万が一の事態が発生した際に多くの消防団員が普通救命講習を受講し、AED操作技術、知識を持ち合わせているので、町内の各地区にある消防団屯所への設置や、消火器などと同様にその場に居合わせた人が自由に使えるように町内の24時間営業のコンビニエンスストアなどに協力を仰ぎ、AED増設置に向けて計画的に推し進めたいと考えている。

小中学校のいじめ問題は

質問

- ①いじめ問題についてどれほどの調査をしたのか、調査したならば調査方法は。
- ②いじめの有無にかかわらず今後の対策等は。

高橋教育長答弁

①いじめが起きてから調査をするということではなく、普段から起きていなくても調査を行い、その時々において適切に対応するよう各学校にお願いしている。各学校の対応は、毎月あるいは学期ごとに全児童、生徒を対象に学校生活上の問題、学習上での問題、悩みなどを把握するため、小学校の低学年では直接面談による聞き取り調査を行い、小学校上学年と中学校では、アンケートを実施して問題把握に努めている。そのほか、日ごろの児童、生徒の生活、服装、あるいは体調管理はもとよりさまざまな情報の収集にも意

用いている。そして、いじめ等の事案があればその都度適切な指導を徹底している。

- ②学期ごとに年3回にわたり児童、生徒指導状況について各学校から報告書を提出してもらっている。

報告書の内容は、各学期における児童、生徒の指導の状況で、具体的には暴力行為、薬物乱用、喫煙や飲酒、窃盗などの不良行為、そしていじめ、不登校などについて指導した回数ほどだけあったのかなど。

今年度の一学期の報告では、小学校ではいじめの報告はなし。中学校では3件。その内容は冷やかし、あるいはからかいなどとなっている。幸いにも、これらはいずれも深刻な事態にはならない、事件性の低い事案であった。しかしながら、この小さないじめも放置しておけば悪質ないじめに発展する可能性があることから、何よりも生徒からの情報をいち早く的確に把握して、解決する指導体制が不

尾形 裕之 議員



可欠であると考えている。いじめは人権、あるいは人格の否定であり、犯罪であるという考えのもと、日ごろから意識して指導していく大事な課題であることを再認識し、今後とも各学校と連絡を密にしながら保護者、関係機関と連携をして、心の教育、いじめ防止などいじめへの対応に教育委員会として努めていきたいと考えている。

五戸まつりについて

質問

- ①五戸まつり実行委員会に町はどのように関与しているのか。

また、300万円程度が実行委員会へ交付されているが、使い道を知らせてほしい。

②昨年9月議会で質問した武者行列の位置について、検討していただくという回答だったが、今年も同じ位置に並んだ。どのように検討したのか。

③昨年9月議会で質問した五戸まつりは三社大祭ではないのに、なぜ豊年感謝祭という前夜祭を稲荷神社で行うのか。検討していただくという回答だったが、どのようにに検討したのか。

三浦町長答弁

- ①五戸まつりは以前から運営委員会があり、主催は実行委員会で行っている。その実行委員会の一員に関係課職員がなっている。町の関与について、五戸まつり実行委員会へ五戸まつり事業費補助金交付金要綱に基づいて、補助金を出している。

- ②昨年9月議会で質問があったが、残念ながら現在確認できる発見に至らず、明確

な答えが出せない。引き続き実行委員会でも調査、検討していただきたいと考えている。

③例大祭はその年の豊年感謝祭でもあり、収穫感謝でもあったわけで、みこしや山車が運行することに、五戸まつり前夜に豊年感謝祭として行われていると考えられる。今後の方向性については、引き続き実行委員会で検討していただきたいと考えている。



議員による武者行列

五戸小唄のCD化を

質問

五戸小唄をCD化して普及に努めてはどうかという質問を昨年度もしたが、その後、

どうなっているのか。

三浦町長答弁

幸い、レコードが現存しているの、著作権や知的財産権、あるいは著作権者人格権など調査中だが、これらが解決すれば五戸小唄を伝承活動として普及できるものであると考えている。

役場にクーラーを

質問

震災前に役場にクーラーを設置する計画があったようだが、震災の影響で計画が中止になった。再検討すべきではないか。

三浦町長答弁

夏場における職員の事務処理の効率化と、住民サービスの向上を図ろうと平成23年度当初予算案に庁舎エアコン設置工事費として3609万7千円の予算措置をしたが、そのやさきの3月11日、我が国における観測史上最大級の地震である東日本大震災が発生し、また、福島第一原子力発

電所事故を初め、各社の発電施設等も事故や不具合を招き、震災直後は東北電力管内でも計画停電が実施されたほか、電力不足が長期化したため電力消費が一番大きいエアコン設置工事の予算執行は凍結させていただいた経緯がある。その後、計画停電を回避するために需要が増加する夏の7月から9月まで電力需要を前年より15%抑制していただきたい旨のお願いが東北電力からあり、本町でも要請にこたえるべく節電行動計画を作成、実行し、また、今年についても昨年度に引き続き

節度ある節電に協力してきた。しかしながら、年々猛暑化傾向になっている中、役場に訪れる住民の方や、猛暑の中で執務している職員、議員からも本庁にエアコンの設置を望む声が大きくなってきており、25年度において国の助成事業を活用し、太陽光で発電しながら蓄電するシステムである役場庁舎再生可能エネルギー事業を計画中である。それらも含み既設の発電設備とのマッチングや費用対効果

など、エネルギーバランスのとれた庁舎エアコン設置工事が可能かについて再検討する。

中川原 賢 治 議員



職員採用の方法は

質問

現在の職員採用はどのような方法で採用者を決定しているのか。

また、大学では優秀な学生を確保するためにAO入試、自己推薦入試がどの大学でも行われているが、AO採用枠のようなものを設ける考えはないか。

三浦町長答弁

平成17年度から21年度まで

の集中改革プランで、目標を上回る削減となったため、21年度以降は退職者の補充をしながら計画的に職員採用を行っている。上級行政職の場合、21年度は26人中2人合格、22年度は25人中2人合格、23年度は37人中5人合格となっている。その他の職種では、21年度に保健師1人、22年度に上級土木職1人を採用している。

職員の採用方法は、一次試験は青森県町村職員統一試験に委託し、二次試験は役場を会場として論文試験と面接試験を実施して最終合格者を決定している。

AO入試が注目を集め年々増加している一方で、国立大学のようにAO入試を廃止する方向の大学もある。これは、AO入試組の基礎学力が足りず授業がわからない生徒がいるということからである。職員の採用枠にAO入試の導入が適しているか否かについては、以上の実情や先行導入自治体の状況を踏まえ、検討していく。

今年の節電対応は

質問

現在日本では、電力という基本的エネルギーが大きな問題となっている。今年の夏も暑い日が続いたが、幸いにも計画停電を行わずに済んだ。当町でも積極的に節電に務めるべきだと思うが、どのように対応しているのか。また、国は節電などの事故対策についてどのような助成があるのか。

三浦町長答弁

現在、庁舎内の2階の一部のみでLED照明の試験をしている。国や県でのLED化への補助制度は現在ないようであり、今後財源の確保を見ながら普及について検討して行く。

総務課長答弁

昨年度、電気の抑制を図るべく不要な蛍光灯は消灯しましょうという合言葉のもとに、役場庁舎を含め10箇所の公共施設の総計で16・2%の

節電を達成した。東北電力からの協力の依頼はないが、今年度も引き続き節度ある協力をしている。



左側 蛍光灯 右側 LED照明

根 森 隆 雄 議員



農地への太陽光発電施設の設置をどう考える

質問

最近耕作放棄地や減反の田んぼに太陽光発電施設を設置

したらどうかという意見を時々聞く。ところが、世界の食糧生産が非常に不安定となり、トウモロコシ、大豆は市場最高値となっている。もし日本が凶作になった場合、世界から自由に、安価に輸入できる時代ではなくなりつつある。したがって、農地はあくまでも農業用地としてとどめ置き、太陽光発電は認めるべきでなく、屋根や遊休工業地などにとどめるべきではないか。また、山林を切り払ってのメガソーラーなどはCO2削減の面から全く論外で、断じて行うべきではないと考える。草ぼうぼうの農地でも、草は木の数倍の光合成能力があり、CO2を吸収しており、自然界では決して無意味な存在ではないと思うが、農業委員会としてどう考え、これからどうしていくのか。

三浦農業委員会会長答弁

耕作放棄地や転作田への太陽光発電設備の設置については、現在のところ、農地を農業以外の用途にすることは法律によって規制されている

ほか、耕作放棄地は面積も小さく分散しているため、太陽光発電設置のためにまとまった用地の確保や電力系統への設立など課題があると思う。

五戸町は農業が基幹産業であり、農業生産の基盤である農地の確保は必要不可欠であると考えます。

しかし、どうしても農地に戻すことができないような耕作放棄地については、農地の有効利用という観点から県内の太陽光発電設備の設置動向を把握し、検討していく必要があると思う。また、森林、山林は土砂災害を防止する国土保全機能、良質な水を生む水源涵養機能や地球温暖化防止が課題となっている現在、二酸化炭素を吸収することによって地球温暖化防止機能を果たすなど大きな役割を担っているため、その多面的機能を壊すことは避けるべきだと思います。

質問

浅水、豊間内、川内等に立派なコミュニティセンターがあるが切谷内にはなく、ぜひ建ててほしいという要望が複数あった。厳しい予算上の誓約があり、大変難しいと思うが、五戸小学校改築後の計画として検討していただきたい。

三浦町長答弁

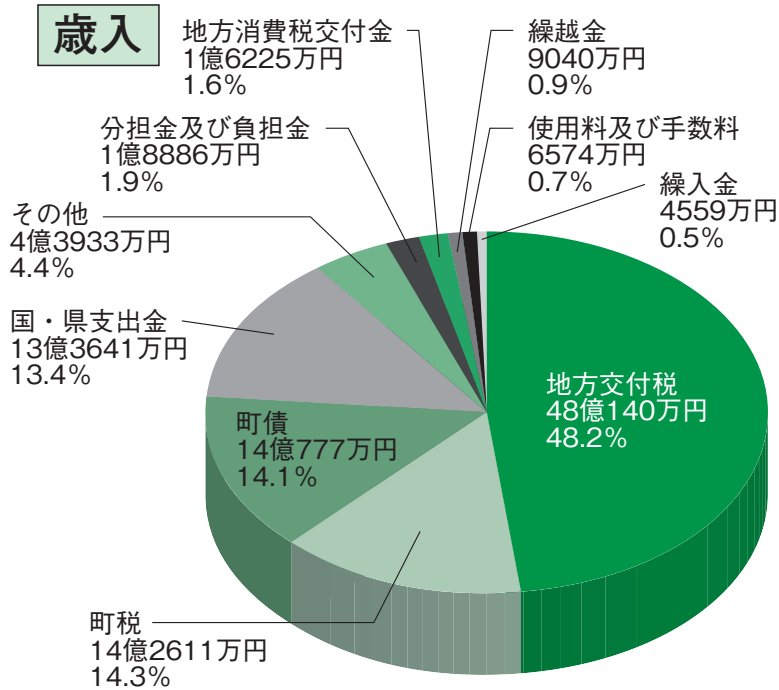
町では、コミュニティセンター設置について、切谷内地区、上市川地区と分けて考えてはいない。川内地区として川内支所に瑞穂館を設置してある。コミュニティはあくまでも地域住民が主となり、積極的に参加することにより活動が盛んになり、その活動に伴いソフト事業等で広く進展が見られ、地域全体の活性化につながる拠点として施設が必要になるのではと考えている。今後ますます切谷内地区の皆さんのコミュニティ活動に期待するが、現段階においては瑞穂館をご利用いただきたい。

切谷内地区へ コミュニティセンター設置を

町の財政状況（23年度決算）

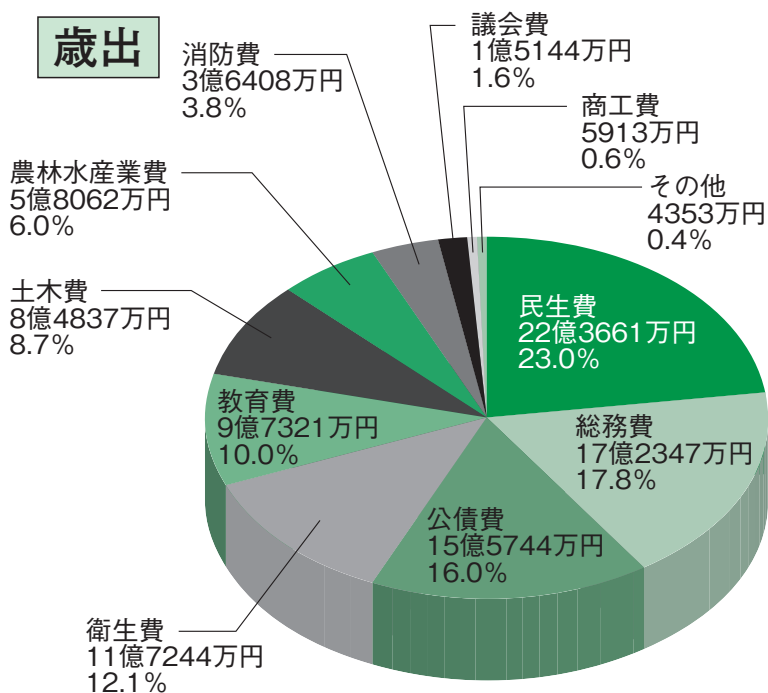
平成23年度の一般会計の決算は、歳入99億6386万円、歳出97億1034万円で、差引2億5352万円の剰余金が生じました。この額から翌年度へ繰越すべき7267万円を差し引いた実質収支額は1億8085万円の黒字となりました。

一般会計歳入 99億6386万円



- ①【地方交付税】町を運営していくうえでの財源不足を補うために、国から交付されたもの
- ②【町税】町民が納めた町民税、固定資産税、軽自動車税やたばこ税などの税収入
- ③【町債】町が事業を行うために、借り入れたお金
- ④【国・県支出金】福祉、農業や教育などいろいろな分野の町の事業ごとに国や県から支出されたもの
- ⑤【分担金・負担金】保育所保護者負担金、給食費保護者負担金や農業関係事業負担金などの収入
- ⑥【地方消費税交付金】町の人口と従業員数により算定され、県から交付されたもの
- ⑦【繰越金】前年度会計から繰り越されたもの
- ⑧【使用料・手数料】公共施設使用料、町営住宅使用料、各種証明手数料など
- ⑨【繰入金】町の基金（貯金）を取り崩したお金

一般会計歳出 97億1034万円



- ①【民生費】障がい者福祉、高齢者福祉などの事業費、保育所など運営のための経費
- ②【総務費】交通安全、財産管理、選挙、情報対策、まちづくりなど活性化対策、徴税、統計などのための経費
- ③【公債費】町債（借金）の償還金
- ④【衛生費】インフルエンザ、各種予防接種、妊婦健診、ごみの収集などのための経費
- ⑤【教育費】町内幼稚園、小中学校、公民館、図書館、ひばり野公園などの教育関係施設運営のための経費
- ⑥【土木費】町道、町営住宅などの新設、改修、維持管理のための経費
- ⑦【農林水産業費】米、畑作、畜産、果樹、林業など農林業の振興のための経費
- ⑧【消防費】消防署負担金、非常消防団運営のための経費
- ⑨【議会費】町議会運営のための経費
- ⑩【商工費】商工振興のための経費

町税等の未収金の状況

平成23年度末現在

区 分	未 収 金 額					23・22年度比較	
	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度	増減額	増減率%
町 税	1億7537万円	1億7532万円	1億6918万円	1億5662万円	1億4076万円	5万円	0.03%
保育料・児童 クラブ負担金	234万円	218万円	285万円	400万円	532万円	16万円	7.34%
五戸台地負担金	1599万円	1800万円	1751万円	1919万円	1245万円	△ 201万円	△ 11.17%
給 食 費	164万円	167万円	159万円	122万円	104万円	△ 3万円	△ 1.80%
ブドロク放牧場 使 用 料	24万円	—	—	—	—	24万円	皆増
町営住宅使用料	23万円	—	—	—	—	23万円	皆増
土 地 貸 付 料	354万円	294万円	100万円	86万円	56万円	60万円	20.41%
奨学資金償還金	1131万円	1138万円	1210万円	1456万円	1230万円	△ 7万円	△ 0.62%
後期高齢者医療 保 険 料	42万円	147万円	66万円	30万円	—	△ 105万円	△ 71.43%
国 保 税	2億8671万円	2億9305万円	2億9208万円	2億7495万円	2億5901万円	△ 634万円	△ 2.16%
介 護 保 険 料	424万円	425万円	413万円	389万円	455万円	△ 1万円	△ 0.24%
下水道受益者 負担金・使用料	720万円	676万円	599万円	528万円	474万円	44万円	6.51%
農業集落排水 分担金・使用料	239万円	222万円	192万円	177万円	174万円	17万円	7.66%
簡易水道使用料	429万円	358万円	253万円	184万円	166万円	71万円	19.83%
ケーブルテレビ 利 用 料	24万円	—	—	—	—	24万円	皆増
合 計	5億1615万円	5億2282万円	5億1154万円	4億8448万円	4億4413万円	△ 667万円	△ 1.28%

※翌年度繰越分は除く

基金(積立金)の状況

平成23年度末現在

財政調整基金	6億4612万円	人育成基金	670万円
減債基金	2億2882万円	肉用牛一貫経営支援基金	1005万円
土地開発基金	1億4554万円	地域振興基金	8億5116万円
泉山教育振興基金	56万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	303万円
木村秀政教育振興基金	182万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	3625万円
公共施設等整備基金	41万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	508万円
まちづくり特別事業基金	901万円	介護給付費準備基金	9576万円
地域福祉基金	90万円	下水道整備基金	2530万円
江渡恭助人材育成基金	144万円	ケーブルテレビ事業基金	720万円
合 計	20億7525万円	町民1人当たり	10万円

※現金・貸付金の額(動産・不動産は含まない)

町債(借入金)の状況

平成23年度末現在

一般会計	104億3597万円
下水道事業特別会計	28億3921万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	10億4014万円
簡易水道事業特別会計	3億1410万円
病院事業会計	42億4510万円
合 計	188億7452万円
町民1人当たり	98万円



平成23年度決算審査

平成23年度の町づくりに予算がどのように使われたか、一般会計、8特別会計、病院事業会計を審査する、全議員の構成による「決算特別委員会」を設置、委員長に鈴木繁盛議員、副委員長に川崎七保議員を互選、9月11、12日の2日間審査しました。
(委員会の場合、議員の職名は「委員」と呼ぶ。)

監査委員意見



中川原美智子
代表監査委員

一般会計・各特別会計

予算の執行は適正に行われている。23年度自主財源は全体比20・7%と前年度比2・8ポイント増加、町税収納率87・9%で前年度比0・3ポイント増加、実質公債比率は

19・7%（前年度21・7%）でやや改善はされているが、一層の努力が望まれる。一般会計、特別会計の収入未済額が多額であり、公平な税負担や受益者負担の原則に基づき、徴収率の向上に向けた更なる努力を期待する。さらに、収入未済額の速やかな解消と新たな未納金を発生させないよう努めていただきたい。上市川団地は完売に向け、一層の努力をお願いする。

病院事業会計

23年度は不良債務が発生していないが、これまで以上の健全化に向けた努力が必要である。

病院・診療所の患者数は、やや増加しているが、健診センター受診者は年々減少しており、患者及び受診者の確保、収益の増、経営意識の向上とともに経営の健全化に努め、住民から一層信頼される五戸総合病院となることを切望する。

主な質疑

決算特別委員会での一部を掲載しています。

町税の状況は

問 大久保委員 町税の滞納繰越はどのような傾向にあるのか。

答 佐々木税務課長 23年度は前年度に比べて0・02%の増加。過去の状況からみると年々増加傾向にある。

災害等廃棄物処理事業委託料とは

問 高山委員 災害等廃棄物処理事業委託料とは。

答 中里福祉保健課長 東日本大震災により、養鶏場の鶏舎のゲージ4つが倒壊し、これは災害廃棄物として処理されるものであり処理を業務委託したもので。国から2分の1補助あり。

東北新幹線全線開業効果活用支援事業補助金の内容は

問 三浦(専)委員 東北新幹線全線開業効果活用支援事業補助金の支払先、事業内容は。

答 新井田企画振興課長 支払先は五戸町観光協会。事業内容は、観光用のハイビジョン映像のDVDを作成し、観光協会のホームページでも見られる。日本語、英語、韓国語に対応している。

八戸西インターチェンジの状況は

問 若宮委員 八戸西インターチェンジ建設促進期成同盟会負担金を毎年支払っているが、進捗状況は。

答 三浦町長 同盟会の設立当初はインターチェンジの基礎額で70億円以上と見込まれていたが、最近になってスマートインターという無人のETC専用であれば、事業費も3分の1ぐらいになるということで国・県に陳情してきた。しかし、費用対効果の財政的な問題

がある。

東日本震災では救援活動等に高速道路がかなり活躍したこともあり、今後も強く陳情を続けたい。

公共下水道の今後の見通しは

問 大久保委員 ①23年度末での事業の実施率②事業完了年度③24年度以降最終年度までの事業費④供用開始している区域の加入率⑤県では8年後の普及率を62・6%と目標設定しているが、五戸町での普及率の目標値。

答 山部建設課長 ①事業費ベースで36%程度、事業費総額が135億円に対し23年度末までの投資額が48億7000万円。整備した面的な整備率は31・6%、計画617ヘクタールに対し195ヘクタールを整備した②現在の計画では32年度③86億3000万円程度が見込まれる④64・7%の加入率⑤45%程度。年間10ヘクタール程度の整備で事業を進めている。

第8回臨時会

平成24年10月31日に臨時会を開催しました。

町長からの案件として、補正予算2件が提出されました。

町長提出案件

●一般会計補正予算(第3号)

・予算総額

101億7068万4千円

主な内容

413万1千円増額

主な増額

・町有林つる払い等業務委託料

250万円

・吸収冷温水機温度センサー等交換工事費

89万3千円

●介護保険特別会計補正予算(第2号)

22億706万1千円

主な内容

1億1600万円増額

主な増額

・介護基盤緊急整備等特別対

・川内中学校(耐震補強の状

況といじめ対策)

・五戸中学校(耐震補強計画

といじめ対策)

・倉石中学校(いじめ対策)

・廃校校舎等の利活用(企画

振興課から説明)

調査内容

策事業費補助金
1億1600万円

審議の結果

全員賛成で原案のとおり可決

常任委員会活動報告

常任委員会の所管事務調査

所管事務調査とは

常任委員会は、その部門に属する事務に関して自主的にテーマを設定し、調査を行うことができます。

総務常任委員会

平成24年10月25日 実施

調査内容

学校施設の状況調査といじめ対策、廃校校舎の利活用について、学校を訪問し、校長及び担当課から説明を受けました。

・上市川小学校(耐震補強工事の状況)

・川内中学校(耐震補強の状

況といじめ対策)

・五戸中学校(耐震補強計画といじめ対策)

・倉石中学校(いじめ対策)

・廃校校舎等の利活用(企画振興課から説明)

経済常任委員会

平成24年10月12日 実施

調査内容

農林課及び建設課が担当する事業の現地調査を実施し、担当課から進捗状況等について説明を受けました。

・畜産担い手育成総合整備事業(ブドロク放牧場)

・町有林(五戸台地 寺久保地区)

・過疎対策道路事業(町道山辺沢線道路改良工事)

・町道ネットワーク整備事業(町道追分2号線道路改良工事)

・道路新設改良事業(町道苗代沢団地3号線道路改良舗装工事)

民生常任委員会

平成24年10月18日 実施

調査内容

・病院事業の経営改善について

自治体病院に勤務経験があり、現在は南部町で開業している、はらだクリニックスの原田英也院長を講師に迎え、自治体病院と民間病院の制度や経営の違い等について講演をいただきました。



平成24年9月25日、青森市にて議会広報を作成するための研修会が開催され、広報常任委員4名が出席しました。

町村議会広報研修会



講演

- (1)「親しまれる議会広報づくり」
- (2)町村議会広報のクリニック
エディター

株式会社ジエイクリエイト
代表取締役社長

城市 創氏



【講演内容】

- (1)「親しまれる議会広報づくり」と題して広報作成の注意点などについて講演が行われました。

- (2)町村議会広報のクリニックでは、各郡で議会広報を単独発行している町村から各1町村の議会広報を使用し、良い点や改善したほうがよい点の説明を受けました。

議員活動報告

五戸地区議会議員協議会 研修会

平成24年9月28日、五戸地区議会議員協議会研修会が開催され、七戸町で実施している再生可能エネルギーについて視察研修を行いました。

【研修内容】

- ・道の駅しちのへに設置してある太陽光発電システムと電気自動車充電スタンドを視察。

- ・七戸町役場にて七戸町での再生可能エネルギーへの取り組み状況を説明。

- ・七戸町役場駐車場に設置してある太陽光発電システムを視察。

- ・七戸町内で実施している小水力発電実証実験設備を視察。



小水力発電実証実験設備



太陽光発電システム

五戸地区議会議員協議会は、五戸町と新郷村の議会議員で構成されており、町村の区域を超える広域行政に関する調査研究や情報交換を行っています。

三戸郡町村議会議員研修会

平成24年10月31日、田子町

にて、郡内議会議員を対象に研修会が開催され、15名の議員が参加しました。

講演
「明治期の郡制施行とその後」
階上町歴史研究会

会長 正部家 奨氏



【講演内容】

三戸郡の歴史、どのようにして現在の三戸郡や八戸市ができたのか。また、文化財についての講演がありました。



議会報告会開催のお知らせ

下記の日程・会場で開催します。時間は2時間程度を予定しております。
いずれの会場でも参加できますので、ご都合のよい会場へおいでください。

開催日時	A班	B班	C班
11月26日(月) 午後6時30分から	町立公民館	蛸川公会堂	豊間内コミュニティセンター
11月27日(火) 午後6時30分から	切谷内公民館	浅水活性化センター	瑞穂館
11月28日(水) 午後6時30分から	石沢駒踊伝承館	倉石温泉	倉石コミュニティセンター
議員班構成	和田 寛 司	大 沢 博	根 森 隆 雄
	大久保 均	高 山 浩 司	尾 形 裕 之
	若 宮 佳 一	鈴 木 繁 盛	松 山 泰 治
	川 村 浩 昭	川 崎 七 保	沢 田 良 一
	古 田 陸 夫	三 浦 専治郎	中川原 賢 治
	中 里 公志郎	三 浦 俊 哉	柏 田 雅 俊

報告会の 内 容

- ・議会からの報告 平成23年度決算、平成24年度予算、議会の状況
- ・参加者の皆さんからの質問、意見、要望

当日は、本誌をご持参ください。

編集後記

議会では、議会活性化の一つとして議場での議論を町民の皆さまにわかりやすくお伝えするため、9月定例会での一般質問を五戸ケーブルテレビで放映いたしました。

テレビを見てのご感想はいかがでしたでしょうか。ご意見等をお待ちしております。

その他、一般質問における質疑の方法について、一問一答方式と対面方式の導入に向けて精査、検討しております。

議会では、開かれた議会及び住民の声を行政に伝えるにはどのような方策があるのか検討しておりますので、今後の各議員の議会活動に期待していただければ幸いです。

今年も残すところ1ヵ月余りとなりました。町民の皆さまには、来年も良い年でありませう衷心より御祈願申し上げます。

委員 大久保 均

議会を傍聴しよう!

12月定例会は12月中旬開催予定です。
詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、
五戸町ホームページでもお知らせします。

広報常任委員会

委員長 根 森 隆 雄
副委員長 高 山 浩 司
委員 大久保 均
委員 鈴木 繁 盛
委員 若 宮 佳 一
委員 沢 田 良 一
委員 三 浦 専治郎

次回の広報は、
平成25年2月
発行予定です。